

(様式第9)

岡大病総第185号  
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

岡山大学病院長  
森 田

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	107	人
--------	-----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	227人	267人	427.8人	看護業務補助	2人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	94人	70人	140.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	52人
薬 剤 師	48人	0人	48.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助 産 師	23人	0人	23.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	791人	18人	803.6人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	14人	1人	14.8人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	208人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	41人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	672.9人	15.6人	688.5人
1日当たり平均外来患者数	1,598.9人	582.5人	2,181.4人
1日当たり平均調剤数	1,232.6		剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	29人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	25人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘻痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘻痕その他の重症の瘻痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	5人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	9人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	7人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	89人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	71人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	37人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	5人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	113 人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	85 人
・多発性硬化症	58 人	・ウェゲナー肉芽腫症	15 人
・重症筋無力症	122 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	100 人
・全身性エリテマトーデス	272 人	・多系統萎縮症	44 人
・スモン	44 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5 人
・再生不良性貧血	50 人	・膿疱性乾癬	12 人
・サルコイドーシス	113 人	・広範脊柱管狭窄症	6 人
・筋萎縮性側索硬化症	60 人	・原発性胆汁性肝硬変	82 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	214 人	・重症急性膵炎	4 人
・特発性血小板減少性紫斑病	56 人	・特発性大腿骨頭壊死症	94 人
・結節性動脈周囲炎	59 人	・混合性結合組織病	32 人
・潰瘍性大腸炎	278 人	・原発性免疫不全症候群	9 人
・大動脈炎症候群	33 人	・特発性間質性肺炎	28 人
・ピュルガー病	28 人	・網膜色素変性症	46 人
・天疱瘡	41 人	・プリオン病	2 人
・脊髄小脳変性症	99 人	・原発性肺高血圧症	42 人
・クローン病	94 人	・神経線維腫症	34 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・悪性関節リウマチ	32 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5 人
・パーキンソン病関連疾患	375 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	7 人
・アミロイドーシス	6 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3 人
・後縦靭帯骨化症	98 人	・副腎白質ジストロフィー	3 人
・ハンチントン病	4 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	【病理診断部門】 ・剖検症例検討会 月1回程度 ・消化器内科+消化管外科とのカンファレンス 週1回程度 ・乳腺・内分泌外科とのカンファレンス 年4回程度 ・脳神経外科との脳腫瘍カンファレンス 月1回程度 ・婦人科との婦人科腫瘍カンファレンス 週1回程度 【臨床検査部門】 ・総合診療内科との症例検討会 月1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	28 例	剖検率 12.8 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大型の早期大腸癌に対する細径内視鏡補助下・内視鏡的粘膜下層剥離術の有用性	浦岡 俊夫	消化器内科	千円 300	(補) 川崎医学・医療福祉学振興会教育研究助成 委
上皮成長因子受容体遺伝子改変マウスを利用した肺癌化学予防に関する基礎的研究	木浦 勝行	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科	2,210	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
異型腺腫様過形成から肺腺癌への発癌機構の解明と化学予防	瀧川奈義夫	呼吸器・アレルギー内科	650	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
気管支喘息におけるロイコトリエンB <sub>4</sub> およびエフェクターT細胞の役割の検討	宮原 信明	呼吸器・アレルギー内科	2,340	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
気管支喘息の発症・難治化におけるHGFの役割解明と再生医療への応用	金廣 有彦	呼吸器・アレルギー内科	780	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
gp91phox遺伝子に対するsiRNAを用いた心不全に伴う心室性不整脈の治療	中村 一文	循環器内科	900	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
原発性肺高血圧症患者の肺動脈平滑筋細胞における異常増殖・アポトーシス低下の機序の解明	中村 一文	循環器内科	1,100	補 (委) 国立循環器病センター
心サルコイドーシスにおける不整脈の検討	草野 研吾	循環器内科	1,000	補 (委) 国立循環器病センター
筋萎縮性側索硬化症の分子メカニズムの解明と遺伝子・再生療法	阿部 康二	神経内科	2,800	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
変異SOD1導入グリア細胞の運動ニューロン傷害機序と細胞内骨格の動態解析	永井真貴子	神経内科	910	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
運動失調症に関する調査研究班 (班長：西澤正豊)	池田 佳生	神経内科	1,200	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究班(班長：今井尚志)	阿部 康二	神経内科	500	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班(班長：糸山泰人)	阿部 康二	神経内科	900	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
神経変性疾患に関する調査研究 (班長：中野今治)	阿部 康二	神経内科	1,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
スモンに関する調査研究	阿部 康二	神経内科	700	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委

小計 15 件



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化器癌早期診断のためのエピジェネティックバイオマーカの開発	松原 長秀	消化管外科	千円 8,970	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ヘパラーゼの機能解析-分化誘導機能と血管新生作用の解析と制御による癌治療開発-	猶本 良夫	消化管外科	1,430	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ヒトES細胞の肝細胞分化誘導とそのバイオ人工肝臓システムへの応用	小林 直哉	消化管外科	8,060	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
大腸腫瘍に対する非侵襲的診断方法による総合的診断の確立	永坂 岳司	消化管外科	2,860	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
大腸癌幹細胞の生物学的特性の解析と新癌治療法の開発	小林 直哉	消化管外科	1,000	補 (財)ちゅうごく産業創造センター 委
ヒトES細胞の機能的肝細胞への分化誘導法の確立とその再生医療への応用	小林 直哉	消化管外科	10,270	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
埋め込み式バイオ人工膵臓による新規糖尿病治療の開発	小林 直哉	消化管外科	26,000	補 独立行政法人科学技術振興機構(JST) 委
第三世代制限増殖ウイルスベクターを用いた弥漫性胸膜中皮腫に対する新規治療法の開発	田中 紀章	肝胆膵外科	1,800	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
転移型・進行非小細胞肺癌治療のための新規ウイルス製剤及び投与方法の開発	松岡 順治	乳腺・内分泌外科	11,700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	土井原博義	乳腺・内分泌外科	600	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療確立のための研究	尾崎 敏文	整形外科	1,050	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
変形性関節症軟骨におけるアグリカン分解機構の解明とエピジェネティック制御法の開発	西田圭一郎	整形外科	2,300	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
変性関節軟骨を三次元的に診断するX線画像撮影法の開発	国定 俊之	整形外科	1,500	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
アパタイト接着性多糖複合体を用いた高機能性硬組織セメントの開発	田中 雅人	整形外科	1,000	(補) 岡山医学振興会研究費補助金 委
三叉神経運動枝による顔面神経麻痺の新しい治療法の開発	木股 敬裕	形成外科	900	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委

小計 15 件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん外科治療における形成再建手技の確立に関する研究	木股 敬裕	形成外科	千円 14,954	補 委	厚生労働省がん研究助成金
血管付神経移植による視神経再生促進作用の解析	木股 敬裕	形成外科	100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	木股 敬裕	形成外科	2,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	10,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
EBウイルス潜伏感染と宿主免疫に起因する皮膚疾患の病態と予後の研究	岩月 啓氏	皮膚科	2,550	補 委	文部科学省科学研究費補助金
皮膚癌の免疫回避機構と腫瘍特異抗原蛋白を用いた免疫療法に関する研究	辻 和英	皮膚科	420	補 委	文部科学省科学研究費補助金
デフェンシン抗菌活性の決定因子	白藤 宣紀	皮膚科	510	補 委	文部科学省科学研究費補助金
リンパ球系悪性腫瘍に対するHDA C阻害剤の応答性のメカニズムと予測因子の解析	藤井 一恭	皮膚科	540	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性血管炎に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	岩月 啓氏	皮膚科	500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染に関する調査研究	黒田 重利	精神科神経科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業：乱用薬物による神経毒性・依存症に対する診断・予防及び治療法に関する研究	氏家 寛	精神科神経科	1,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
統合失調症の症例・対照サンプルの収集および覚醒剤精神病を通じての統合失調症関連遺伝子の探索	氏家 寛	精神科神経科	728	補 委	(独)科学技術振興機構
薬物依存症および中毒性精神病に対する治療法の開発・普及と診療の普及に関する研究－薬物依存症の機序・病態における個体因子に関する研究－	氏家 寛	精神科神経科	690	補 委	国立精神・神経センター 精神・神経疾患研究委託費

小計 14 件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/アルツハイマー病総合診断体系実用化プロジェクト:根本治療に向けて」の研究開発項目①「AD臨床評価の標準化研究(J-ADNI臨床研究)」	石原 武士	精神科神経科	千円 1,425	補 委 (独)新エネルギー 産業技術総合 開発機構(NEDO)
動物モデルを用いたうつ病の病因と治療についての研究	児玉 匡史	精神科神経科	1,950	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助 金
統合失調症疾患候補遺伝子DISC-1はカリリンを制御しシナプスを維持する	高木 学	精神科神経科	2,210	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
性同一性障害の分子遺伝学的研究	氏家 寛	精神科神経科	50	補 委 小林孫兵衛記念 医学振興財団
カプセル化神経幹細胞移植を用いた新しい脳卒中治療戦略	伊達 勲	脳神経外科	5,400	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
電気刺激による脳内移植細胞の分化誘導法に関する研究	杉生 憲志	脳神経外科	1,300	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
血管透過性蛋白11Rによる脳卒中の治療効果に関する研究	小野 成紀	脳神経外科	1,100	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
実験動物浸潤性脳腫瘍とマイクロアレイ法による悪性グリオーマ浸潤能規定遺伝子の同定	市川 智継	脳神経外科	1,900	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
悪性脳腫瘍幹細胞を用いた脳腫瘍動物モデルの確立と治療	神原 啓和	脳神経外科	1,300	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
オンコリティックウイルス治療における腫瘍マイクロエンバイロメントの調節	黒住 和彦	脳神経外科	1,340	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
廃用症候群に対する骨髄幹細胞移植とリハビリを用いたダブル治療	安原 隆雄	脳神経外科	1,700	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
蛋白質セラピー法とバイオナノカプセルによる持続性脳腫瘍治療薬の開発	伊達 勲	脳神経外科	2,000	補 委 厚生労働科学研 究費補助金
咽頭冷却による選択的脳冷却法の臨床応用を目的とした研究	伊達 勲	脳神経外科	1,000	補 委 厚生労働科学研 究費補助金
正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	500	補 委 厚生労働科学研 究費補助金

小計 14 件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	千円 1,000	補 厚生労働省 精神・神経疾患 研究委託費 委
びまん性軸索損傷に対するヒト神経幹細胞動注療法	安原 隆雄	脳神経外科	500	補 山陽放送学術文 化財団学術研究 助成金 委
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	44,955	補 厚生労働科学研 究費補助金 委
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学・感染予防・制御に関する研究	森島 恒雄	小児科	16,225	補 厚生労働科学研 究費補助金 委
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	1,000	補 厚生労働科学研 究費補助金 委
小児における急性脳炎・脳症の病態・診断・治療に関する研究	森島 恒雄	小児科	28,860	補 文部科学省科学 研究費補助金 委
骨髄間葉系幹細胞のユーイング肉腫に対する抗腫瘍効果	宮村 能子	小児科	1,430	補 文部科学省科学 研究費補助金 委
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	大塚 頌子	小児神経科	500	補 厚生労働科学研 究費補助金 委
胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究	金澤 右	放射線科	6,000	補 厚生労働科学研 究費補助金 委
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	三村 秀文	放射線科	6,000	補 厚生労働科学研 究費補助金 委
人工筋肉を用いた、麻痺手を動かすシステムに関する研究	千田 益生	総合リハビリテーション部	1,000	補 文部科学省科学 研究費補助金 委
胃癌に対する5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた光力学診断(PDD)の有用性の検討	河原 祥朗	光学医療診療部	500	補 内視鏡医学研究 財団 委
血清遊離メチル化DNAを用いた塵肺合併肺癌の早期発見	田端 雅弘	腫瘍センター	1,040	補 文部科学省科学 研究費補助金 委
携帯TV電話／無線LANと地域情報ハイウェイを活用した地域医療支援システムの研究開発(総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE-C))	岡田 宏基	総合患者支援センター	12,800	補 総務省 委
テノメラーゼ依存症ウイルス製剤の悪性中皮腫の分子病態に基づく診断・治療への応用	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	6,240	補 文部科学省科学 研究費補助金 委

小計 15 件

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
微小リンパ節転移を標的とする選択的ウイルス療法による消化器癌治療の低侵襲化の試み	香川 俊輔	遺伝子・細胞治療センター	千円 1,430	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	1,975	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
遺伝子・細胞治療に携わる臨床研究者育成	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	2,000	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
進行食道癌に対す売るテロメラーゼ活性を標的とする新規アデノウイルス製剤の創薬研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	5,500	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	26,400	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
ナノバイオ・ウイルス製剤と放射線の相互作用機構に関する研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	7,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
指尖毛細管採血による血漿抗体価測定を用いた歯周病細菌感染度の判定法の研究	高柴 正悟	歯周科	8,600	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
口腔ケアのための抗菌物質デリバリーシステムの開発	谷本 一郎	歯周科	1,600	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
歯周病等の口腔内感染巣が白血病治療患者の好中球減少性発熱に及ぼす影響	曾我 賢彦	歯周科	1,200	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の老人性肺炎の予知診断システムの開発	高柴 正悟	歯周科	15,750	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
唾液腺幹細胞を用いた唾液腺機能再生に関する研究	峯柴 淳二	歯周科	500	(補) (財)小林孫兵衛記念医学振興財団 委
上皮間葉相互作用を模倣した歯胚再生モデルに関する研究-歯原性組織の器官培養と胚性幹(ES)細胞を利用した歯胚再生とマスターキー遺伝子の解析-	窪木 拓男	補綴科 (ク라운ブリッジ)	7,930	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
三叉神経痛において生じている一次侵害受容神経過敏化のメカニズムの解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科 (ク라운ブリッジ)	4,160	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
発生過程を再現する象牙質再生技術の開発-歯胚や歯髄の不死化細胞樹立とその応用	完山 学	補綴科 (ク라운ブリッジ)	4,550	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
アパタイトコーティング層の微細構造制御による新しい生体活性型インプラント	前川 賢治	補綴科 (ク라운ブリッジ)	2,600	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委

小計 15 件